

令和7年度 大樹町立大樹小学校 学校経営の基本方針・重点

学校運営協議会

保護者・地域との連携

【共育・交信】

大樹町の強み【共育・交信】

関係機関、こども園・中・高との連携

【共育・交信】

めざす子ども像

- ・チャレンジを大切にして主体的に取り組む子
- ・自律して行動する子
- ・相手や場面を意識できる子

学校教育目標

- ✿ 強く（主体性）
- ✿ 正しく（自律性）
- ✿ 美しく（相手意識）

めざす職員室像

- ・支持的風土を大切にする
- ・一人一人が個性を発揮する（**当事者意識**）
- ・最大の教育環境であることを教職員が自覚し**働き甲斐**を抱いて生き生き元気に輝く

モットー

笑顔で登校 笑顔で下校

めざす姿【ゴール】

○元気な（主体性） ○自信の（自律性） ○伝わる（相手意識）

「自信の」笑顔がいっぱい大樹っ子

合言葉

「わくわく」「そうぞう（想像・創造）」**「当事者意識」「働き甲斐」**

学力・体力の向上

- わくわく感に基づく仕掛けの工夫、展開
→取組・成果の見える化、蓄積、徹底
- 「PDCAサイクル」の徹底・推進
- 教科担任・授業交換・実践交流の推進
- ゴールを意識した取組の焦点化

大樹学の充実

- 「実感」「創造」のある学びの展開
- 中・高との連携・接続を重視し、「宇宙」の取組など大樹の特色を「知る、誇る」思いの醸成
- 地域連携の充実を基本とした取組の展開（コーディネーターとの連携）

ICTの活用

- ・「授業での活用」「日常での活用」「業務改善」
- ・学び合いを重視した「ステップ3」を目指す取組

「挑戦」「相手・場面意識」

- 「わくわく感」に基づくチャレンジの場の創造
- 「なかま」や「場」を意識した行動の追求と認め合いの風土の更なる醸成
- 「目指す子ども像」を柱とした豊かな心の育成
- 「スパン」、「ゴール」、「PDCA」を意識した焦点化した取組の展開

働き方改革の推進

- 「働きやすさ」と「働き甲斐」を重視した改革の推進
- 分掌業務の活性化（業務の整理、組織の機能化）
- 「個への対応」「チームでの対応」を基本とした特別支援教育の姿勢を活かした各種取組対応の推進
- 「認め合い」を重視した働き甲斐の向上を追求する職場風土の醸成

- *「ベクトルの一致」を基盤とした各種取組の推進
→当事者意識に基づく「自走」の充実・展開

学校力の向上

大樹小の強み【取組の基盤】

- *教職員一人一人が自分の言葉で取組を語る【**当事者意識**】
→課題・方法・現状・成果・改善（PDCAの意識）

